

令和6年度第3回八千代市庁舎整備検討委員会 会議録（要点録）

日時：令和6年10月23日（水）
午後3時00分～午後3時30分
場所：市役所旧館 4階 第2委員会室

1. 開会

- ・ 委員数の2/3以上の出席により、本会議は成立している。

2. 議題

(1) 議題1 市役所敷地内における雨水貯留槽の整備について

①事務局より説明

新庁舎建設を含めた市役所敷地内の整備計画は、都市計画法による開発行為に該当しないため、本市が定める雨水抑制基準が適用されないが、基準に準拠した雨水流出抑制施設を整備することにより、周辺地域の安全確保の一助となることから、来年度発注予定の現市役所本庁舎旧館・新館解体及び別館改修工事の実施設計で都市整備部と協議しながら詳細な検討をする。

②意見・質疑応答

Q. 概算で工事費はどれぐらいになるか。

A. 雨水貯留槽は概算で1億円程度と想定している。また、本庁舎旧館・新館解体及び別館改修工事費用は、基本設計書に約5.15億円と記載しているが物価上昇等により増額すると思われる。

Q. 参考資料1の1枚目の北側、都市計画道路に向かって青の矢印が示されているが、これは道路側溝につながるとのことか。また2枚目の資料ではその矢印が無くなっているが、その際は道路側溝につながらないということか。

A. 青色の矢印はイメージであり、実際に矢印の数だけつながるという意味ではない。ハミングロードに向かう通路のところに、既存の排水管があり、新庁舎建設工事終了後はここをメインに接続し、必要に応じて都市計画道路へ部分的につなげる。

雨水貯留槽を整備した際は、雨水貯留槽からオーバーフローした部分を道路側溝につなげる

Q. 駐車場の下に雨水貯留槽を整備するのか、またその容量はどれぐらいか。

A. 駐車場の下に整備するが、車が乗っても問題ない構造になっている。
容量については、関係各課と協議しながら基準に準拠した容量を確保する。
(1ヘクタール当たり1,300m³程度なので、市役所敷地の2.5ヘクタールの場合は3,500m³程度)

また、雨水貯留槽の設置範囲については、新館の地下構造物を利用して整備する予定なので、新館の大きさ程度で考えている。

Q. 参考資料1の2枚目、赤枠で囲ってある範囲の雨水は雨水貯留槽へ排水されるのか。

A. そのとおりである

(2) 議題 2 新庁舎建設工事概算工事費について【報告】

①事務局より説明

概算工事費について事務局より報告。

②意見・質疑応答

Q. 今後の物価上昇に関する情報等あるか。

A. 現時点では分からない。概算工事費は物価上昇も見据えて積算しているが、
想定を超える物価上昇があった場合は、概算工事費を超える可能性がある。

(3) 議題 3 今後の事業の進め方について【報告】

①事務局より説明

新庁舎建設工事については、総合評価落札方式により事業者選定を行うため、
今後は、学識経験者 2 名を含めた事業者選定委員会を設置し進めていく。

② 意見・質疑応答

特になし。

3. 総括

- ・市役所敷地内における雨水貯留槽の整備については関係課と協議しながら検討を進めることとする。
- ・新庁舎建設工事概算工事費については、引き続き精査を進めることとする。
- ・総合評価落札方式による事業者選定を行うため、今後、学識経験者 2 名を含めた事業者選定委員会を設置し進めていく

4. 閉会